

沿岸各地の水温

日本海 20～21℃台
陸奥湾 17～21℃台

今回は泊以外の全地域で昇温しました。特に鱒ヶ沢、茂浦、青森ブイで2度以上昇温していました。平均前回差は+0.9度となりました。

昨年と比べると、日本海側が-0.5度、津軽海峡側が-2.6度(竜飛で-4.5度)、陸奥湾内が-0.1度、太平洋が-1.9度で、平均昨年差は-1.2度となっています。

平年と比べると、日本海で平年並み、津軽海峡でかなり低め、陸奥湾でやや高め、太平洋でやや低め、平均平年差は-0.3度となっています。

(7月6～10日)

津軽海峡 14～16℃台
太平洋 14～15℃台

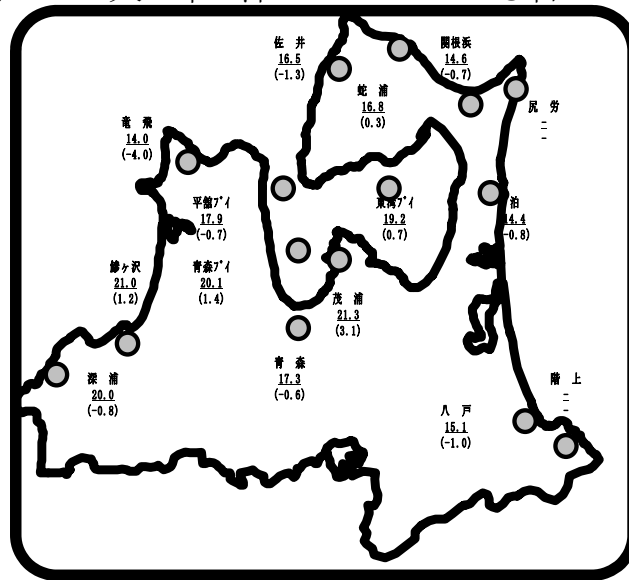


図 定地水温 (7月6～10日)
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	20.0	-0.8	-2.1	+0.5
鱒ヶ沢	21.0	+1.2	+1.1	+2.2
竜飛	14.0	-4.0	-4.5	+0.2
佐井	16.5	-1.3	-1.7	+0.1
青森	17.3	-0.6	-1.6	+0.3
蛇浦	16.8	+0.3	-1.5	+1.3
関根浜	14.6	-0.7	-2.6	+0.3
尻労	-	-	-	-
泊	14.4	-0.8	-2.1	-0.2
八戸	15.1	-1.0	-1.7	+0.0
階上	-	-	-	-
茂浦	21.3	+3.1	+2.0	+2.4
平館ブイ	17.9	-0.7	-1.7	+0.7
青森ブイ	20.1	+1.4	+0.9	+2.4
東湾ブイ	19.2	+0.7	-0.2	+1.4
平均	17.6	-0.3	-1.2	+0.9

太平洋の海況 (7月9～10日)

概況；沿岸水温は15℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べ1～2度ほど昇温していますが、前年同期と比べると2度低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

14℃等温線でみると東経141度40分付近までと、前回より強まっています。

○親潮系冷水の南下

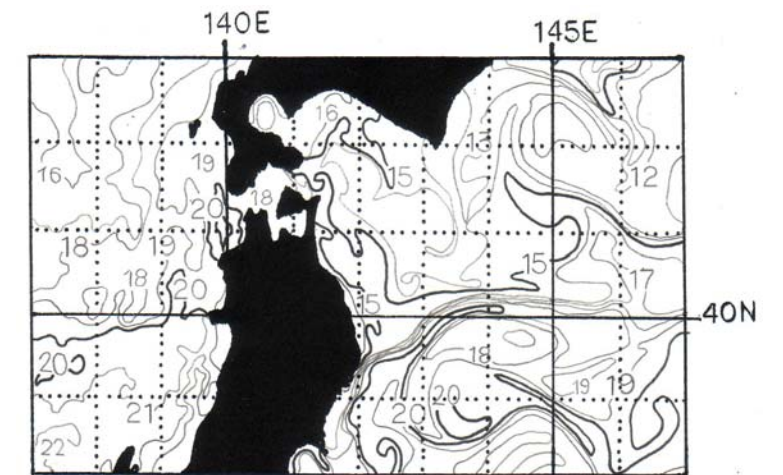
14℃等温線でみると北緯40度15分付近までと、前回より弱まっています。

日本海の海況 (7月9～10日)

概況；沿岸水温は19～20℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べ2～3度ほど昇温していますが、昨年同期と比べると1度ほど低い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター

北部太平洋海況情報 第29号 7月11日

●六ヶ所沖の水温

	No. 1ブイ		No. 2ブイ	
	水深4m	水深5m	水深5m	水深20m
6月21～25日	12.99	12.63	12.24	
6月26～30日	12.89	11.76	11.54	
7月1～5日	14.46	-	-	
前回差	+1.58	-	-	
昨年差	-2.89	-	-	

※No.1ブイは40-58N, 141-25E、No.2ブイは40-57N, 141-25E
※No.2ブイはメンテナンスのため陸揚中。6/27までのデータ

◎ヤリイカ冬季来遊群漁況予測の検証について

平成19年12月に行った平成19年8月～平成20年2月までの漁期における青森県～岩手県～北海道道南沿岸で漁獲されるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測について、平成19年12月～平成20年2月の漁獲量(一部暫定値含む)をもとに予測結果の検証を行いました。

漁期序盤(8月～11月)の漁獲量から予測した漁期全体(8月～翌年2月)の予測漁獲量2,400トン(前年比700トン増)に対して、実際の漁獲量は2,020トン(前年比450トン増)でした(図1)。

海域別に前年からの変化をみると、日本海と太平洋で増加、津軽海峡で減少、北海道、岩手県ではほぼ昨年並みでした(図2)。

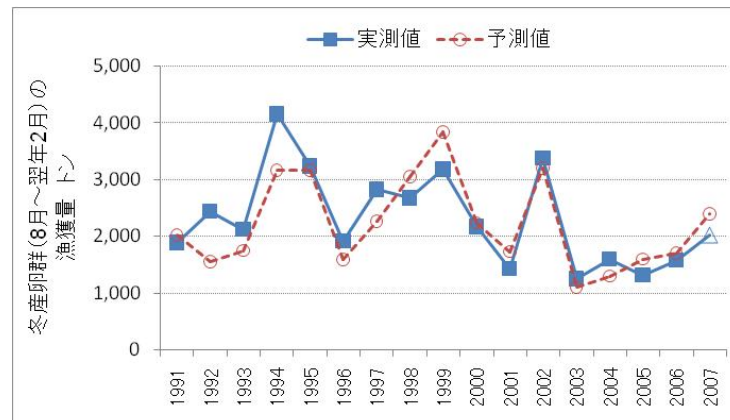


図1 ヤリイカ冬季来遊群漁獲量の予測値と実際の漁獲量

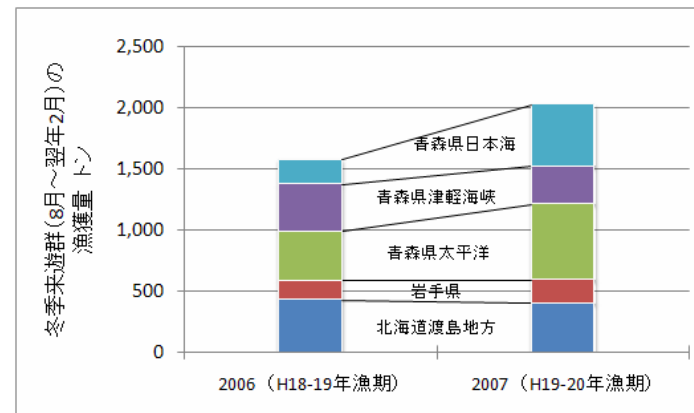


図2 ヤリイカ冬季来遊群の海域別漁獲量